



日本私立中学高等学校連合会発行
東京都千代田区九段北四丁目 番二五号
(私学会館内) 郵便番号一〇二一〇〇七三
電話 〇三(三三六二)二八二八・一六一五
購読料は一年で三千円(会費も含めて徴収)

www.chukoren.jp

文部科学省令和6年度予算案が決定

私立高等学校等 経常費助成費等補助

1022億円に増額

私立高校等の 端末整備、補助率3%以内に嵩上げ

令和6年度政府予算案が12月22日の臨時閣議で決定された。そのうち文部科学省の一般会計の総額は、前年度比0.8%増の5兆3384億円...

このうち私立高等学校等経常費助成費等補助1022億円の内訳は、一般補助が852億円(前年度比1億円増)、特別補助が138億円(同1億円増)、特定教育方法支援事業が32億円(前年度と同額)で、一般補助では中学、高校とも生徒1人当たり単価を0.9%増額...

また、私立学校施設・設備の整備予算は総額で93億円。内訳は①耐震化等の促進が40億円、②私立学校施設環境改善整備が10億円、③私立高等学校等ICT教育設備が約21億円...

耐震化等の促進に40億円計上

り教育の質の充実に資する取り組みが対象)IIグローバル人材育成のための英語教育の強化、数理・データサイエンス・AI教育等の推進等...

①次世代を担う人材の育成の促進(外部講師の活用等による)
②ICT教育環境の整備(防犯、防災、交通安全)の実施等が対象
③特別支援教育に係る活動の充実...

②の私立学校施設環境改善整備事業は熱中症対策として教室や体育館等へのエアコンの設置やバリアフリー対策、安全・安心な生活空間の確保に必要な基盤的設備等の整備を支援...

内容

常任理事会等開く.....3面
私学振興全国大会詳報.....4.5面
4年ぶり対面で全審連総会開催...6面
日私教研だより.....8面

(2面へ続く)

(1面から続く)

またICT教育設備整備支
援の対象学校種は小、中学校、
義務教育学校、高校、中等教
育学校、特別支援学校で、補
助対象設備はコンピュータ、
ソフトウェア(DVD、ライ
センス等)、周辺機器(プリン
タ等)、視聴覚関連機器(デジ
カメ、電子黒板等)、附帯工事
費等。補助率は1/2以内

補助対象経費の範囲は1校当
たり500万円以上4千万円
以下。
私立高等学校等におけるI
CT環境の整備に向けた支
援38億円(前年度比5億円
増)に関しては、前述のお
り、私立高等学校等経常費助
成費等補助の特別補助の中
私立高校等の端末等のリース
契約に対する支援(補助単価

が1校当たり1001万円から
130万円に増額)と、私立
高校等の教職員の日常的なI
CT活用の支援に従事する情
報通信技術活用支援員の配置
のための予算(補助単価1校
当たり45万円)が盛り込まれ
ている。

私立学校施設・設備の整備
の推進事業に関しては、先月
(11月29日)、国会で成立した
6億円。利子助成対象となる

事業(対象期間)は、①危険
建物の改築・改修事業(20
年以内)、②大学附属病院の
改築事業(10年以内)、③新
型コロナウイルス対応事業
(1年以内)。利子助成率は、
①の場合、1s値0.3未満
では1/3年目が貸付利率と
同率、4年目以降が貸付利率
マイナス0.5%、③の場合、

このほか文科省は一般財
団法人日本私学教育研究所
に対して前年度と同額の約
2019万円を令和6年度予
算に計上している。
これは同研究所の初任者研
修事業、中堅教員等を対象に
した資質向上研修事業、私立
学校の教育方法等に関する研
究事業への一部補助事業。

私学助成 以外の 主な私学関連予算

令和6年度文部科学省予算
案で私学助成関係予算以外を
見ると。

▽高校生等への修学支援事
業 4244億円(前年度比
39億円の減額。このうち高等
学校等就学支援金等は対象と
なる世帯年収(910万円未
満)、私立高校等の場合の支
給限度額(39万6千円)等に
変更はない。高校生等奨学給
付金は非課税世帯・全日制
等(第1子)の給付額が国公
立、私立とも5千円引き上
げられ、私立では給付額が
14万2600円となる。

▽高等学校改革の推進 前
年度と同額の8億円が計上さ
れた。
この事業は①探究・文理横
断・実践的な学び、②柔軟で
質の高い学びを推進すること
で、多様な学習ニーズへの対
応と質保証を実現する事業。

①では、新時代に対応した高
等学校改革推進事業として普
通科改革支援事業、創造的教
育方法実践プログラム等を、
またマイスター・ハイスクー
ル事業、WVLIコンソーシア
ム構築支援事業を進める。こ
うした高校改革では令和5年

度補正予算で高等学校DX加
速化推進事業(DXハイス
クール)として100億円が
計上されている。
②では各学校・課程・学科
の垣根を超える高等学校改革
推進事業が新たに設けられて
おり、予算額は1億2千万
円。遠隔・通信等も活用した

学びの機会の充実ネットワー
ク、都道府県の枠組みを超え
た、高等学校連携ネットワー
クの構築を進める。また不登
校生徒等の学び充実支援策と
して、オンライン等を活用し
た効果的な学習の在り方に關
する調査研究、通信制高校の
学びの充実支援事業を実施す
る。そのほか広域通信制高校
の適切な指導監督・情報発信
を通じた質保証のため、所轄
庁による適切な指導監督の在
り方の研究、都道府県の連携
等を促す都道府県間プラットフォームの構築・運営等を進
める。
▽デジタル教科書の導入 17億円。

令和6年度文科省関係主な税制改正

令和6年度文部科学省関係
税制改正要望では5項目が認
められた。
このうち私立学校に関わる
最も大きな改正は、学校法人

の個人寄附に係る税額控除の
要件の見直し(所得税)で、
学校法人が税額控除の対象法
人となるための実績判定期間
を、一定の要件を満たす場合

には5年から2年に短縮でき
る。一定の要件とは、必要な
寄附者数・寄附金額といった
実績要件を年度ごとに満たし
ていること(小規模法人向け

の緩和措置は引き続き適用)、
税額控除に係る証明申請が令
和7~12年度の間に行われる
こと、具体的な経営改革計画
を作成していること、実績判
定期間中に税額控除に係る証
明を受けている期間が含まれ
ていないこと。

第16回常任理事会開催

私学法改正政
省令案等説明

本連合会は12月5日、東京・市ヶ谷の私学会館で第16回常任理事会を開催し、この日は主として文部科学省担当官による二つの説明が行われた。



神山課長



後藤課長

まず、最初は、神山弘・高等教育局私学部私学行政課長から「私立学校法の政省令改正案について」、二つ目は後藤教至・総合教育政策局教育人材政策課長から「児童生徒等に性暴力を行った教員に対

する厳正な対応について」それぞれ資料を基に詳細な説明があり、質疑応答が行われた。特に神山課長は現在、政省令・寄附行為作成例を内部でチェック中であり、今後、関係団体や学校法人に知らせる

予定であることなどを述べた。続く報告・審議では、令和6年度私学関係政府予算対策について、私立学校の生徒等1人1台端末の整備について

国による支援の拡充の状況等

私学振興全国大会の運営

など
協議

第15回常任理事会、理事・監事・事務局局長会議開く

本連合会は11月1日、東京・市ヶ谷の私学会館で第15回常任理事会、理事・監事・事務局局長会議を開催し、引き続き会場を移して、文京シビックホール「大ホール」で開催する令和5年度私学振興全国大会の運営等を協議した。冒頭、挨拶で吉田会長は、大阪の高校等の無償化制度が



第15回常任理事会、理事・監事・事務局局長会議

ホールで令和6年11月6日(水)13時30分から開催する予定であることを説明した。



高田課長



石川室長



中野課長

大臣に大阪府の吉村洋文知事から大阪の高校等無償化制度に関する要望書が提出されたこと等について触れ、大阪府の標準授業料(キヤップ制)という概念は私学になじまざり、各校の経営権の侵害であり、府外の私学に制度への参加を強いることはあつてはならないと述べ、現在近畿地区の私学協会長会で吉村知事に申し入れ書を提出する流れであると説明した。会議に入り、①ことも家庭庁の高田行紀・成育局総務課長から「日本版DBSの検討会報告書や法案進捗状況について」「教職員の性犯罪歴の確認手続き等について」、②文科省の石川仙太郎・総合教育政策局教育人材政策課長から「令和6年度私学関係政府予算対策並びに教育制度委員会の報告が行われた。続く報告・審議では令和6

第14回常任理事会で

ことも家庭庁や文科省から懸案事項等を説明

本連合会は10月10日、東京・市ヶ谷の私学会館で第14回常任理事会を開催した。冒頭、吉田会長は挨拶で、9月13日の内閣改造で盛山正仁・新文部科学大臣が誕生し表敬訪問を行ったこと、盛山大臣に大阪府の吉村洋文知事から大阪の高校等無償化制度に関する要望書が提出されたこと等について触れ、大阪府の標準授業料(キヤップ制)という概念は私学になじまざり、各校の経営権の侵害であり、府外の私学に制度への参加を強いることはあつてはならないと述べ、現在近畿地区の私学協会長会で吉村知事に申し入れ書を提出する流れであると説明した。会議に入り、①ことも家庭

が報告された。部会(委員)報告では、教育制度委員会の長塚常任理事から「資料のとおり、通信制課程に係る私立高等学校の認可基準(標準例)が策定され、既設のサテライト施設について設置先の認可基準を参酌し適切な維持管理を求めることができるようになった。また、全日制課程が硬直化し不登校生徒が通信制に流出していることから、全日制課程においてもオンラインやオンデマンドを活用することが必要との趣旨から、学校教育法施行規則の一

部改正の省令案が出されており、私立高校においても例えば公立高校が地域で構築しているネットワークを活用出来るようにする等どのように授業を工夫するか検討する必要がある」との報告があつた。

令和5年度私学振興全国大会を開催

本連合会は11月1日、東京・文京シビックホールの大ホールで日本私立小中学校高等学校保護者会連合会とともに、「令和5年度私学振興全国大会」を開催した。全国から約1700名の私立学校関係者、保護者が出席し、文部科学省からは、公務のため欠席となった盛山正仁大臣の名代として青山周平副大臣、与党・自由民主党の萩生田光一政務調査会会長や文教関係国会議員が24名出席(他に代理出席25名、メッセージ1名)し、令和6年度私立学校関係政府予算の拡充や保護者の教育費負担軽減などを要請した。



山中副会長

大会の冒頭、本連合会の山中幸平副会長による開会の辞に続いて、主催者代表として吉田晋会長が挨拶した。

主催者代表挨拶



令和5年度私学振興全国大会

私立中学高等学校は建学の精神のもと、新しい時代に対応した特色ある質の高い教育を展開し有為な人材の育成に取り組んでいるが、教育環境の整備、諸物価高騰への対応など様々な課題解決を求められている。私立学校は保護者が負担する授業料と公的支援によつて運営されており、私立学校運営の根幹である經常費助成が増えることが重

日本私立中学高等学校連合会

会長 吉田 晋



要である。自由民主党の先達により議員立法で成立した私立学校振興助成法の第1条の目的には、私立学校の教育条件の維持及び向上、私立学校に在学する幼児、児童、生徒又は学生に係る修学上の経済的負担の軽減、私立学校の経営の健全性を高め、もつて私立学校の健全な発達に資するとされている。教育の充実には学校経営の安定が重要である。

私立中学高等学校は、これからも自主性・独自性を堅持しながら生徒、保護者の期待に応えていく。

主催者代表挨拶

日本私立小中学校高等学校保護者会連合会
会長 門傳 英慈
我が国の公教育は、国公立



立学校がそれぞれの役割を發揮してこそ発展するものと信じている。しかしながら、私立学校に対する公的支援は国公立に比べまだ低い水準である。私立中学高等学校への公的支援の拡充が求められるが、教育の自由を奪うような公的支援は認められない。子供たちの教育環境の充実のために私立学校の經常費助成費補助等の拡充強化を要望する。

要請

日本私立中学高等学校連合会
副会長 近藤 彰郎



私立学校は自由民主党の先達の議員により制定された私立学校振興助成法のおかげで

創設者の思いを受け継いで教育を行っている。私立学校のガバナンス改革の際にも、現状に沿った形で法改正が行われたことに感謝している。また、大阪府での授業料の上限を決める「キャップ制」による高校授業料無償化は大阪府内に止めるべきである。我々は私立学校の良い教育を守っていく。

保護者の願い

兵庫県私立中学高等学校保護者会連合会の吉村美緒さんが「保護者の願い」として、教育のデジタル化の基盤となる1人1台のパソコンの配備や学校の施設設備の整備をはじめとする教育環境の一層の充実と保護者の経済的負担の軽減を要請し、同文書を山谷えり子議員に手渡した。

決議採択

日私学保護連の東原相次郎副



最後に、小山康直副会長が閉会の辞を述べ大会を閉会した。



小山副会長

来賓挨拶

文部科学副大臣

衆議院議員 青山 周平氏



文部科学省は、教育振興、教育投資の充実に努めていく。なかでも私立学校の役割は我が国の学校教育の発展に極めて重要であるとの認識のもと、私学助成の充実や税制上の優遇措置をはじめとした私立学校振興方策の推進に精一杯取り組んでいく。

元文部科学大臣

衆議院議員 下村 博文氏

自由民主党政務調査会会長 衆議院議員 萩生田光一氏



私立学校のパソコン購入の補助率は、来年度から現在の1/2以内から2/3以内に

前総務大臣 衆議院議員 松本 剛明氏

引き上げる予定で、壊れることを想定して15%余分に予算措置をする。

また、高校時代からデジタルに親んでもらうために全国で1000校、100億円を計上し、デジタル環境を一気に整備する予定である。今後私学振興のために最大限の努力をしていく。

元国務大臣

参議院議員 山谷えり子氏

難しい時代だからこそ、変



国会議員本人24人、代理人25人が出席した

化が急な時代だからこそ教育、教育、教育で、格差なく、皆が私立学校の充実した教育が受けられるよう、これから頑張っていく。

元文部科学大臣

衆議院議員 柴山 昌彦氏

国公立の格差是正と全国どこでも質の高い教育が受けられる環境整備に一致団結して予算確保に取り組む。

元文部科学副大臣

衆議院議員 義家 弘介氏

公立学校の器からこぼれ落ちた16歳の私を、小さな私立学校が受け入れてくれた。この恩返しをしていく。

内閣総理大臣補佐官

衆議院議員 石原 宏高氏

しっかりと私学振興に力を尽くしたい。防衛関係の人材育成をお願いしたい。

元内閣府副大臣

参議院議員 赤池 誠章氏

補正予算獲得に際して私学の実情を訴えた甲斐あって、高等学校のICT環境整備で

1000校、1校1000万円を確保した。「歩く公私間格差是正」として今後も頑張っていく。

衆議院議員 田中 英之氏

私立学校を支えるために、これからも皆様と共に歩んでいく。

元文部科学副大臣

衆議院議員 田野瀬大道氏

特色ある私学教育の推進のため、皆様からご意見を頂き、国の文部科学行政を一步でも二歩でも前進させるべく粉骨砕身頑張っていく。

参議院議員 今井絵理子氏

私立学校の生徒一人一人に応じた特色ある教育は令和の時代に求められている。私立学校で学んだ経験を活かし、皆様のお力になれるよう頑張っていく。

衆議院議員 勝目 康氏

私学の価値は個別最適な教育による多様な人材の輩出である。最も大事な投資である教育に全力で尽くしていく。

衆議院議員 鈴木 英敬氏

公私間格差、地域間格差のしわ寄せは子供たちに行く。格差是正に向けて、しっかりと取り組んで行く。政治は実行力である。皆様の声を形にしていこう。

前文部科学部会長

衆議院議員 中村 裕之氏

私学助成の低下は家計の負担となり、少子化の原因にもなる。私立学校の素晴らしさを社会に示すためにもしっかりとしたガバナンスでの学校運営に当たってもらいたい。

衆議院議員 宮内 秀樹氏

日本の最も重要な資源は人材である。皆様の日々のご努力が日本の発展を支えている。ご要望にお応えできるよう、年末の予算、税制改正等様々なことに取り組んでいく。

※12月に入って一部大臣や党役員の交代がありました。議員の肩書きは大会当日のもの。

全審連

福島県で4年ぶり対面形式で総会開催

次期会長に近藤彰郎・現会長を選任

全国私立学校審議会連合会（近藤彰郎会長）は10月24・25の両日、郡山市内で第78回総会福島大会を4年ぶりに対面形式で開催した。

初日は、森涼・福島県私立学校審議会会長から歓迎の挨拶が行われた後、私立学校審議会委員功労者表彰が行われ、8名が表彰された。この日は、表彰者を代表して秋田

本連合会が文科省等に意見書提出

学教法の省令改正について

同決算報告及び監査報告が原案どおり承認され、令和5年度役員については、野崎武司・副会長の就任が承認された。そのほか令和5年度の事業計画、予算等も原案通り承認された。その後、令和6・7年度の会長及び監事候補者選考委員会が別室にて開かれ、その結果について、同委員会の内野光裕・委員長から、次期会長には現会長の近藤会長、

次期監事には現監事の仲田晃弘・監事、八文字典昭・監事を候補者とするので一致したとの説明があり、総会ではこれら人事案が全会一致で承認された。初日の総会後には、学校種ごとに三つの専門部会が開かれ、中学・高校等の問題を扱う第3専門部会では、広域通信制高等学校などに関

する五つの協議題等について積極的かつ意欲的な議論が行われた。2日目の総会では、専門部会の協議結果が報告され、後日、運営理事会で取りまとめ、必要に応じて国や都道府県へ陳情することが決定された。なお、令和6年度総会は、長野県で開催する予定。

犯罪歴等を速やかに確認できる仕組みの構築を求めるとともに、教員の新規採用に当たっては、既に特定免許失効者等データベース、官報情報検索ツールが活用されていることから、新たに日本版DBS制度を導入する際には利便性への配慮、各法律等での扱いに整合性を持たせることを求めた。

本連合会は、11月24日、学

多くの全日制高等学校が3分の2以上の出席を求めている一方、36単位の範囲内とは

その上で、教育業務支援員など私立学校に対する支援の拡充強化をはじめ、全日制高等学校の目的を明確にし、社会の多様化や高度化に柔軟に

年の通常国会以降の関連法案提出を念頭に議論が進められている。

なお、12月1日には、公明党でも同様の関係団体ヒアリングがあり、同じく文書で意見を提出した。

校教育法施行規則の一部を改正する省令案に対して、文部科学省に意見書を提出した。意見書では、全日制課程に在籍する不登校生徒が退学することなく授業を受け続けることができるなど、評価できる面もあるが、同時双方向型の遠隔授業における教員負担や、全日制課程では文科省が定める高校卒業に要する74単位を大きく上回る厳格な教育課程により運営されていることなどに言及。

不整合や、通学を続ける生徒と不登校生徒との間で不平等が生じることなどの課題を指摘した。

対応した教育ができるよう、教育課程の在り方を含め、教育制度全体を現在の教育を巡る状況に合わせて見直すとともに、教育の自由度を高めるための方策を検討するよう求めた。

本連合会は、9月29日『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（諮問）に対して、

立学校と並ぶ公教育機関であり、教育の質が低下しないよう、教員の勤務条件を向上させる必要があることを指摘した。

日本版DBS制度について

自由民主党の「こども・若者」輝く未来創造本部は11月16日、日本版DBS制度について関係団体からのヒアリングを実施し、本連合会は文書

で意見を提出した。日本版DBS制度は、子どもと接する職業に就く際、性犯罪歴がないことの証明を求める新たな仕組みであり、来



全審連第78回総会

また、令和4年度事業報告

自由民主党の「こども・若者」輝く未来創造本部は11月16日、日本版DBS制度について関係団体からのヒアリングを実施し、本連合会は文書

で意見を提出した。日本版DBS制度は、子どもと接する職業に就く際、性犯罪歴がないことの証明を求める新たな仕組みであり、来

本連合会は、9月29日『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（諮問）に対して、

立学校と並ぶ公教育機関であり、教育の質が低下しないよう、教員の勤務条件を向上させる必要があることを指摘した。

各地で令和6年度私学振興大会を開催

都道府県の私学協会等は令和6年度都道府県予算編成に向け相次いで私学振興大会を開いている。主だった県の大会の概要を見ると。

公益社団法人山形県私立学校総連合会、山形県私立中等高等学校PTA連合会等は9月24日、山形市内で令和5年度第61回私学大会を開催。公立校並みの教育環境、教職員の仕事環境整備等のための財政支援実現を再確認した。

秋田県私学連合会は10月3日、秋田市内で第42回私学振興大会を開催した。江島清彦会長は私学を巡る状況を報告した上で、「本県の私学の安定した基盤が必要」と述べた。大会では公私間での入学定員の調整等が要望された。

一般財団法人千葉県私立中等高等学校協会等は10月7日、千葉市内で第20回私学振興大会を考慮を考える集いを開催した。佐久間勝彦会長が、「私たちの願いは公立と同水準の条件で建学の精神の下、新しい時代の要請に応える子供を輩出することだ」と述べ、熊谷俊人知事等に更なる支援を要請した。

新潟県私立中等高等学校協会と新潟県私立中等高等学校保護者会連合会は10月12日、新潟市内で令和5年度私学振興大会を開催した。加藤寿一・協会長は私学ならではの長所を生かせるよう公的支援の充実を県当局に要請した。

和歌山県私立学校連合会は10月18日、和歌山市内で第54回私立学校振興大会を開催した。藤田清司会長は「子供や若者の夢や希望の実現に向け、全力で取り組む」などと挨拶した。大会では教育をより振興するための助成等の実現を決議した。

三重県私学総連合会は、10月21日、津市内で第59回私学大会を開催した。梅村光久会長は一見勝之知事らに対して「新型コロナウイルスは、私立学校とその保護者に経済的影響を与え状況は厳しい」と訴え、教育環境整備等への更なる支援を要請した。これら以外の地域でも10、11月を中心に振興大会等が開かれている。

奈良県私立中等高等学校連合会と奈良県私立中等高等学校保護者会連合会は7月12日、奈良市内で令和5年度私学振興大会を開催した。田野瀬太樹・同中高連会長は挨拶の中で、「大阪府が計画する教育無償化制度は私学経営の根幹に関わる。全国一律で不公平感のないよう国に取り組んでほしい」と訴えた。

鹿児島県私立中等高等学校保護者会連合会と鹿児島県私立中等高等学校協会は9月30日、鹿児島市内で令和5年度私学振興大会を開いた。川島英和・同協会長は「私学は特色ある質の高い新しい教育を提供することで魅力ある学校づくりを進めることが最重要」と述べ、補助の拡充強化等を塩田知事に要請した。

秋田県私学連合会は10月3日、秋田市内で第42回私学振興大会を開催した。江島清彦会長は私学を巡る状況を報告した上で、「本県の私学の安定した基盤が必要」と述べた。大会では公私間での入学定員の調整等が要望された。

一般財団法人千葉県私立中等高等学校協会等は10月7日、千葉市内で第20回私学振興大会を開催した。

令和5年秋の勲章・褒章受章者

令和5年秋の私立中学・高校関係勲章・褒章受章者は次の各氏。

(旭日中綬章)▽三室戸東光・学校法人三室戸学園理事長 (旭日小綬章)▽三室戸東光・学校法人三室戸学園理事長 (瑞宝小綬章)▽伊藤宣子・聖ウルスラ学院英智小・中等高等学校校長▽千葉拓司・元学校法人高田学苑理事長▽元横浜雙葉中学高等学校校長 (藍綬褒章)▽禿了修・学校法人福井仁愛学園理事長▽下屋浩実・学校法人飛騨学園理事長▽北前雅人・学校法人大阪産業大学理事長

日私学保連が姫路市で令和5年度総会・研修会を開催

日本私立小学校中学校高等専門学校保護者会連合会(門傳英慈会長)は、令和5年度総会・研修会を7月13・14日の2日間、姫路市内のホテル日航姫路において開催した。

当日は来賓として文部科学大臣政務官の伊藤孝江・参議院議員や前文部科学大臣の末松信介・参議院議員、片山安孝・兵庫県副知事、内藤兵衛・兵庫県議会議長、吉田晋・日本私立中等高等学校連合会会長等が臨席、都道府県私学保護者会連合会代表者ら約150名が参集した。

初日の研修会では、中高連の吉田会長が、2日目は、灘中学校・高等学校参与(前校長)・兵庫県私立中等高等学校連合会副理事長の和田孫博先生が、講演を行った。

功労者表彰の後、議案審議では、令和4年度事業・決算報告、令和5年度事業計画案・予算案が原案通り承認された。

第28回研究・研修
統轄会議開催

一般財団法人日本私学教育

研究所は12月5日、東京都千代田区・アルカディア市ヶ谷において研究・研修統轄会議を開催し、今年度事業の総括及び経過が承認された。今年度は一般研修会、全国私学教育研究会香川大会、地区別・府県別研修会、英語5技能教育特別部会(西日本エリア。北日本エリアは次年度に延期)、初任者研修地区研修会、若手教員全国研修会、中堅教員研修会を実施した。生成AI、探究学習など喫緊の課題を取りあげ、ワークショップ、研究討議、意見交換会、教育懇談会などコロナ禍前のように交流プログラムが積極的かつ参加者主体で展開され、多くの研修会に定員を超える参加者が集まった。3月に委託研究員研究成果報告会を東京都千代田区で開催する。次回2月の当会議では令和6年度事業の基本方針を策定する。

日私教研だより

若手教員全国研修会・中堅教員研修会 (西日本・広島会場)開催
9月22日・23日に広島県広島市・広島コンベンションホールにおいて開催し、総勢60名(若手20名/中堅40名)が参加した。今年度の研修テーマは「探究を磨く私学ならではの個性的な学びのデザイン」で、長塚篤夫・順天中学高等学校校長による講演をはじめ、石井雅章・神戸外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授による講演、広石英記・東京電機大学副学長、伊藤貴昭・明治大学文学部教授、泰山裕・鳴門教育大学院学校教育研究科准教授による講義・ワークショップ等が実施された。若手・中堅合同で行ったワークショップでは、一定の条件が設定された私立学校を想定して探究学習のデザインに取り組んだ。参加者からは「気づきや発見が多々あり、目から鱗が落ちる思いだった」、「心の底から参加して良かったと思えた」など好評を得た。

イノベーション教育
(グローバル・ICT活用)
研究部会開催

10月19日・20日、東京都江東区・J stay & grow 南砂町において「AIと共に歩む教育」〈テクノロジを駆使して創造力を引き出すアプローチ〉を研究のねらいに開催し、定員を超える58名が参加した。吉田壘・東京大学大学院工学系研究科附属国際工学教育推進機構准教授による講演・ワークショップはオンラインツールを活用し、質疑や意見交換を交え双方向型で進められ、ChAGPTの基礎知識と最新情報を学び、プロンプト作成など授業で活用できる生成AIの実践に取り組んだ。吉田氏と高橋一也・神田外語大学教育イノベーション研究センター客員講師の対談も行われ、研究協議では講師の指導を受けながら議論を交わした。参加者からの「生徒や教員をテクノロジで支えることが大切だと感じた」などの感想が寄せられた。

全国私学教育研究集会
香川大会開催

11月9日・10日、香川県高松市・J Rホテルクレメント高松において「持続可能な社会を実現する私学教育の創造」を研究目標に開催し、44都道府県から513名が参加した。初の開会式では、主催者及び中国・四国地区代表挨拶、香川県知事及び高松市長祝辞、次期大会開催地の九州地区代表挨拶を行った。全体会では、東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター/技術経営戦略学専攻の松尾豊教授の記念講演「人工知能の進展と人材育成」、中高連会長・日私教研所長の私学情勢報告、香川県私立学校活動紹介として、坂出第一高等学校「少林寺拳法演武」及び尽誠学園高等学校「和太鼓演奏」を披露した。2日目は私学経営、教育課程、法人管理事務運営、生徒指導、特色教育の5部会を実施、参加者は情報と意見を交わし、AIと教育、経営展望、創造性、探究学習、部活動など課題研究を深めた。

次世代リーダー育成部会

11月21日・22日、奈良県奈良市・ホテル日航奈良において「教育の未来を拓く羅針盤」変革の時代を乗り越えるために」を研究のねらいに開催し、定員を超える68名が参加した。初日は吉田晋・当研究所理事長による講話、志村昌司・染織ブランド・アトリエシムラ代表による講演「染織家・志村ふくみの芸術精神とその継承」、参加者主体の意見交換会、ネットワーキングパーティを行った。2日目は、特別プログラム【榎原神宮参拝】、西大和学園中学校・

高等学校の学校視察(学校紹介、施設・授業見学、質疑応答等)を行った。2日間の研修会は非常に充実した内容で、参加者からは「地域や年齢も異なる、次世代を担う経営者、管理職、教員などが一堂に会して研修を受け、情報交換をしたことは貴重な経験になった」等、全てのプログラムに対して高い評価を受け成功裡に終了した。

★最新の開催情報は当研究所ホームページで公開中。



☆ 令和5年度研修会等案内 ☆
委託研究員研究成果報告会<参加申込受付中>
会期: 令和6年3月9/16日
会場: 主婦会館プラザエフ(東京都千代田区)
☆ 令和6年度研修会等案内 ☆
委託研究員<募集中>
令和6年度委託研究員(30名程度)を募集
私学経営研修会
会期: 令和6年6月6~7日
会場/視察校: 八幡屋/学校法人石川高等学校・石川義塾中学校 (福島県石川郡石川町)
私立学校専門研修会・法人管理事務運営部会
会期: 令和6年8月9日
会場: ビジョンセンター品川(東京都港区)
全国私学教育研究集会大分大会
会期: 令和6年10月31日~11月1日
会場: iichiko 総合文化センター iichiko グランシアタ、 ホテル日航大分オアシスタワー、ソレイユ(大分県大分市)